

審査基準と配点表

審査項目（基礎・加点点数）

1. 事業目的、実施内容及び実施方法（40点）

1.1 事業目的（合計5点、基礎5点、加点0）

【基礎】事業目的が、公募要項が示す事業の目的に合致しているか。

1.2 実施内容及び廃炉対策への適合性（現場適用性を含む）（合計15点、基礎5点、加点10点）

【基礎】実施内容が、公募要領が示す事業内容と整合し、かつ廃炉対策への適合性（現場適用性を含む）を考慮した上で具体的に記載されているか。

【加点】公募要項が示す事業内容以外に、事業目的に対して有効な事業内容が提案されているか（新規性・独創性）。

1.3 実施方法（合計20点、基礎5点、加点15点）

【基礎】実施方法が事業目的・実施内容と整合しているか。

【加点】実施方法について具体的な検討が行われ、効率的・効果的、かつ、実現可能な実施方法が採られているか。また、創意工夫がみられるか。

【加点】特に、公募要項に示した「研究開発の運営」を満たすための具体的な実施方法が示されているか。

2. 実施スケジュール（15点）

2.1 実施スケジュール（合計15点、基礎5点、加点10点）

【基礎】事業目的・実施内容に対し、妥当な実施スケジュールが示されているか。

【加点】実施スケジュールに、事業を適切に実行する根拠（人員・手順等）が示されているか。

【加点】実施手順について、効率的に実施するための工夫が示されているか。

3. 実施体制 (30 点)

3.1 実施体制・役割分担 (合計 10 点、基礎 5 点、加点 5 点)

【基礎】実施体制図、役割分担（プロジェクトリーダーを含む）、要員数が明確にされているか。

【基礎】事業を遂行可能な人数が確保されているか。

【加点】事務局からの要望等に迅速・柔軟に対応できる体制が備わっているか。

【加点】廃炉対策への適合性（現場適用性を含む）を考慮・判断できる実施能力と連携体制が備わっているか。

【加点】交付決定後、事業を速やかに開始する体制が確保されているか。

3.2 組織としての専門性、類似事業実績 (合計 10 点、基礎 5 点、加点 5 点)

【基礎】組織として事業遂行に不可欠な専門知識、ノウハウ等を有していることが示されているか。

【加点】組織として類似事業の実績があるか。

【加点】組織として事業内容に関連する技術的知見や専門知識、ノウハウ等の蓄積があるか。

【加点】組織として、事業実施に生かされる業務実施経験や、事業実施に役立つ専門機関のネットワークを有しているか。

3.3 従事者の専門性、類似事業実績 (合計 10 点、基礎 5 点、加点 5 点)

【基礎】従事予定者が、事業遂行に不可欠な専門知識、ノウハウ等を有していることが示されているか。

【加点】従事予定者に、類似事業の実績があるか。

【加点】従事予定者に、事業内容に関連する技術的知見や専門知識、ノウハウ等の蓄積があるか。

【加点】従事予定者に、事業実施に生かされる業務経験や、事業実施に役立つ専門家のネットワークを有しているか。

4. 補助事業に要する経費 (合計 10 点、基礎 5 点、加点 5 点)

【基礎】事業目的・実施内容に対し、適切な経費が計上されているか。

【加点】補助事業に要する経費は、可能な限り合理化されているか。

5. 経営基盤・管理体制 (合計 5 点、基礎 5 点、加点 0 点)

【基礎】事業遂行のための経営基盤を有しているか（支出に係る証拠書類等の整理・保管体制等を有しているか。）。

【基礎】事業遂行のために、補助事業者として、確実な経理処理が出来ることが確認できるか。

採点基準

- ・ A(良い) × 1、B(やや良い) × 0.7、C(普通) × 0.5、D(やや悪い) × 0.3、E(悪い) × 0
- ・ 各評価項目に A~E の評価を下し、各評価項目の配点に係数を乗じて採点を行う
- ・ 100 点満点： 基礎点 45 点、加点 55 点
- ・ ただし基礎点が 45 点に満たない場合は、採択対象外とする。 以上